

宇宙刑事タリバン

大島 行雲

市場界。そう呼ばれる弱肉強食の空間に聳え立つ白亜の宮殿、ホワイト宮殿。

その宮殿の庭で、鷹の様な鼻をした魔王ブツシュが右手を振り上げて叫んでいる。

「我が十字軍に加わるか、さもなければ死と破壊の確実な見込みに向き合うか、道は二つに一つだ！ ショー・ザ・フラッグ！」

魔王ブツシュの演説が映るテレビ画面を背に、片目の不自由な一人の男が説教をしていた。

「全宇宙の悪を陰から操り、時には正面からの強襲で幾多の星々を制圧してきたテロ国家「アメリカ帝国」。全宇宙を自由と民主主義、そして資本主義に塗り替える事が魔王ブツシュの野望だ。

ブツシュが率いるアメリカ帝国の魔手によって、既にパレスチナ惑星は占領されて人々は故郷を追われ、ニカラグア惑星やボスニア惑星は爆撃によって甚大な被害を受けた。

我らの聖地であるサウジ惑星には今も帝国軍が駐留している」
全銀河をイスラム教の下、平和と安全に守る為に組織された宇宙規模の警察機構、銀河連邦警察の最高責任者、オマル長官が、そう語った時、皆の視線が一ヶ所に集中した。

その視線の先では、白いターバンに黒い髭の一人の青年が、歯軋りして拳を握っていた。

「ビンラディン・・・」

隣の男が彼の肩に手を置いた。

「すまない」

「お前のせいじゃないさ、ジョン・ウォーカー」
オマル長官は続ける。

「アメリカ帝国によつて銀河は蹂躪されようとしている。今、正に君達の力が必要なのだ。憎い悪の帝国アメリカと戦い、魔王ブツシュを倒すのだ！ アラーは偉大なり！」

「アラーは偉大なり！」
オマル長官の言葉を聞いていた人々が、そう叫ぶと一斉に立ち上がった。

喚声を上げる群衆の中にオマル長官は入っていき、彼ら一人一人に指示を与えていく。そして、先程の白いターバンの男の前に立った。

「オサマ・ビンラディン。君の故郷サウジアラビアから帝国軍を追い出すためにも、アフガニスタンは死守しなければならない」

「戦います！」
威勢良く答えた青年ビンラディンを見て、オマル長官は頼もしげに頷いた。

「今日から君は宇宙刑事タリバンだ」

宇宙刑事タリバンこと青年、オサマ・ビンラディンは、超次元戦闘母艦アルカイダに乗り込んだ。隣には相棒の女性が座っていたが、真っ青なブルカに身を包まれて顔も何も分からない。

「アルカイダ、テイクオフ！」

ビンラディンが右手を振り上げると、超次元戦闘母艦アルカイ

ダは轟音と共に発進し、銀河連邦警察本部のあるカンダハル惑星を飛び立った。

宇宙空間を航行し、ビンラディンに乗せたカンダハルは、アフガニスタン惑星に着地した。

下り立ったビンラディンは岩だらけの大地を焦がす太陽を眺め、これからの厳しい戦いに必ず勝利する事を誓った。

一方、市場界のホワイト宮殿では魔王ブツシュと二人の副官、ドクター・パウエルとマスード将軍が話をしていた。

「アフガニスタンは岩と砂ばかりの土地です。侵略する価値があるのですか？」

マスード将軍が言うと、すぐにドクター・パウエルが口を挟んだ。

「魔王ブツシュ様、たしかにアフガニスタン惑星自体には魅力的なものはありません。しかし、あの惑星を制圧することで、その先にある豊富なエネルギー資源の輸送手段を確保することができます。この宇宙で覇権を握るには、いかに大量で良質のエネルギー資源を手にするかです。」

魔王ブツシュ様、私におまかせくださいれば、必ずやアフガニスタン惑星とともにありあまるエネルギー資源を捧げましょう」

パウエルの腹黒い計画にマスードは嫌な顔をする。彼ら二人の周りではアメリカ帝国の戦闘員シールが、迷彩色の体で縦横無尽に走り回りながら「フリーダム！ フリーダム！」と奇声を発し

ていた。

「アフガニスタン惑星とエネルギー資源を手に入れる為、どうか、ブッシュ様、何卒、異教獣を！」

ドクター・パウエルが魔王ブッシュに求めると、ブッシュは片手を聖書に添え、もう一方の手を上げた。

どこからともなく「ゴッド・ブレス・アメリカ」が流れてくる。

戦闘員シールは魔王ブッシュの周りで不釣合いなフォークダンスを踊り始めた。

リズムに合わせてブッシュが鷹のような鼻から鼻水を飛ばす。

それをドクター・パウエルは素早く試験管で受け取った。

「ははあああつ！」

魔王の鼻水が入った試験管を敵かに頭上に捧げ持ち、ドクター・パウエルはそれを部屋中央に置かれた怪しげな機械の中へと入れた。見た目は『フライ』を思わせる大きな機械だ。

「スイッチ・オン！」

ドクター・パウエルの命令とともに戦闘員シールの一人が、機械の横についたレバーを上げた。電流が走り、機械の中が赤と青と白に激しく点滅する。

バチバチバチ、ドッカーン！

強烈な閃光と轟音。そして、奇声を上げる怪人が機械の中から姿を現した。

「フリーイーターム！」

怪人の下には白いテロップで「異教獣プレデター」と表記。

カンダハルの街を頭にターバンを巻いた男と青いブルカに身を包んだ女が歩いている。

と、どこからともなく歌が聞こえてきた。

おお、夜明けの薄明の中で、我らが誇り高く呼びかける、あの旗が見えるか？

夜通しの激しい戦闘の中にも、要塞に勇ましくはためき続けた、

あの星条旗は誰のものか？

勇壮な歌に合わせて、ロボットののような異教獣プレデターが現れる。

「フリーイーターム！」

プレデターは奇声を発すると、女の青いブルカを剥ぎ取った。

「なにをする！」

女を救おうとつかみかかってきたターバン男を捕まえると、右腕から飛び出し式電動カミソリが出てきて、ターバン男の豊かなヒゲを剃り始める。

「うわあ！ やめろお！」

必死に抵抗するターバン男を力にまかせて押さえつけ、ついにプレデターはヒゲを全て剃ってしまった。それを見て、ブルカを剥ぎ取られた女は悲鳴を上げて逃げ去っていった。

アフガニスタン惑星に到着した宇宙刑事タリバンこと、オサマ・ビンラディンはトラボラの洞窟を秘密基地に決めた。家事は

連れてきた女にまかせ、オサマは聖なる星メッカに向かって祈り始めた。

「アラールは偉大なり」

そこに、どこからともなく音楽が流れてきた。

おお、夜明けの薄明の中で、我らが誇り高く呼びかける、あの旗が見えるか？

夜通しの激しい戦闘の中にも、要塞に勇ましくはためき続けた、

あの星条旗は誰のものか？

「・・・？」

不審に思ったオサマが洞窟から顔を覗かせて空を見上げると、アフガニスタンの青い空をアメリカ帝国の飛行機が横切り、何を細長い円筒状の物を落としていった。

「バンカーバスター？」

あわててオサマは洞窟を飛び出し、ひたすら走った。背後で重々しい音がして、アメリカ帝国が落としていったバンカーバスターが洞窟をメチャメチャにする。

爆風で荒野に倒れこんだオサマの上に土砂が降りかかる。

「クソッ！ アメリカめ。イスラム法に反する音楽を流して奇襲してくるとは！ なんて卑劣な。必ず皆殺しにしてやる」

オサマは空を見上げ、今はアメリカに占領された故郷サウジ惑星の亡き父に誓うのだった。

市場空間に浮かぶ白亜の宮殿、ホワイト宮殿の中では魔王ブツシユが巨大な壁かけ式液晶テレビ画面を見て、ほくそ笑んでいた。

テレビ画面の中では、やたらと尻の大きさの目立つミニスカートをはいた女性アナ、フリジット・ジョーンズがアメリカ帝国のアフガン惑星攻撃の報道をしていた。

「マスード、作戦の成果はどうだ？」

「プレデターは次々とアフガン人のヒゲを剃り、ブルカを剥ぎ取っています。一定の成果は得ていますが、宇宙刑事が何やらちょこまかと動き回っているようです」

「宇宙刑事か・・・早々に征伐しろ。マンハントだ」

「ははあーっ！」

アフガン惑星の中心地、カブルへと向かって一台の派手なトラックが走っている。運転手の男は靴下に隠したテープを取り出して、カーステレオに差し込んだ。

ブルース・スプリングスティーンの「ランド・オブ・ホープ・アンド・ドリームス」が流れ出す。

この汽車・・・聖者と罪人に乗せてる

この汽車・・・敗者と勝者に乗せてる

いつしか、それは別の歌に変わり、アメリカ帝国の歌が流れてきた。

あの星条旗は誰のものか？

砲弾が赤く閃光を発し、砲弾が空に炸裂する中にも

我々の旗はずっと要塞にはためいていたのだ！

アメリカ帝国の歌を聞くと、運転手の男は急に形相を変え、片手をハンドルから離して素手で自分のヒゲをむしりとり始めた。トラックは蛇行しながら猛スピードで走る。

その横に馬に乗ったオサマ・ビンラディンが走ってきて、トラックの運転席に飛び移り、トラックのハンドルをつかんで、急ブレーキをかけた。

「おい、しっかりしろ！」

オサマが声をかけても運転席の男は気絶してしまっていて答えない。ヒゲはすでにほとんど抜かれ、毛穴から血がにじんでいた。

「フリーイーターアーム！」

突如、奇声が聞こえ、外を見てみると、路肩に停まったトラックの周りを緑色をしたアメリカの戦闘員シールドが何人にも取り囲んでいた。

オサマは運転席から飛び出し、飛びかかってくる戦闘員シールドを殴り、蹴飛ばし、蹴散らしていく。

「フリーイーターアーム！」

そこへ別の奇声が聞こえてきた。異教獣プレデターだ。

オサマは素手で必死に戦うものの、プレデターの物量にまかせた戦闘力は戦闘員シールドの比ではなかった。

ついにオサマはプレデターに捕らえられてしまう。

「フリーイーターアーム！」

プレデターが叫び、右腕から飛び出し式電動カミソリが出てきて、うなりを上げる。刃先がオサマのフサフサの黒ヒゲに迫る。

「クツソオオツ！」

オサマは渾身の力を振り絞って、プレデターの腕から逃れ、荒野を転がって距離を置くと、すっくと姿勢良く立ち上がった。

「聖戦！」

勇ましく叫び、メッカに向かって祈り始める。

すると、瞬く間にオサマの体が銀色の光に包まれ、コンバットスーツを装着した宇宙刑事タリバンに変身した。

「宇宙刑事タリバン！」

宇宙刑事タリバンがコンバットスーツを聖戦するタイムは、わずか〇・〇五秒に過ぎない。「聖戦」とオサマ・ビンラディンが叫ぶと、オサマの要請を受けたアルカイダは、特殊軽合金ムジャヒニウムを電送する。ムジャヒニウムはオサマの体温に反応して、形状記憶作用で強化服形態を取るのだ。

「お前ら、許せん。音楽を流し、踊りを踊り、ヒゲを剃って、ブルカを取るなど、イスラム法に反する行為だ。アラアの名の下に成敗してくれる！」

高くジャンプするとタリバンは空中で一回転し、プレデターにタリバン・キックを食らわせる。プレデターはよろよろと後退する。

すると、空から巨大なアメリカ戦闘母艦が飛来し、そこから三機の戦闘ヘリが飛んで来た。

戦闘ヘリは容赦なくタリバンに攻撃して来る。続けざまに降ってくる銃弾の雨を、タリバンはジグザグに走ってよける。

岩陰に逃れたタリバンは態勢を整え、大きな武器を取り出して肩に構えた。

「ステインガー！」

タリバンは叫び、引き金を引いた。発射された地对空ミサイルが見事、戦闘ヘリを撃墜する。

この戦いをモニターで見ていた魔王ブッシュは厳かに告げた。

「タリバンを市場空間にひきずりこめ！」

それに答えて、ドクター・パウエルが命じる。

「市場空間にひきずりこめ！」

すると、一転、にわかに掻き曇り、雲が激しく流れ、稲妻が光り、暴風が吹き荒れた。

アメリカ帝国の魔王ブッシュは、経済を操作して市場空間という一種のブラックホールを作り出すことができるのだ。市場空間ではおびただしい商品が生み出されては、捨てられている、弱肉強食の悪魔の空間である。

急激に変わっていく環境にタリバンは動きを止め、空に向かって叫んだ。

「ムジャヒディン！」

その声に答え、アルカイダからサイドカー型のスーパーマシン、

ムジャヒディンが飛来する。タリバンはこれに飛び乗り、市場空間へと突入していく。

タリバンはムジャヒディンが飛び下り、市場空間に浮かんだ不安定な地面に着地する。

そこへ異教獣プレデターが現れた。プレデターの拳が、タリバンを吹き飛ばす。

異教獣は市場エネルギーを得て、地上の三倍のパワーを持つ事ができるのだ。

タリバンは背中から銃を取り出した。

「カラシニコフ！」

叫ぶと弾を連射する。プレデターに命中し、プレデターがひるんだところに、タリバンはチョップやキックでさらに攻撃する。

プレデターも負けてはいない。右腕から巨大化した電動カミソリを出し、タリバンのコンバットスーツを破壊しようとした。

タリバンは一步、後退し、左手から剣を取り出して、プレデターのカミソリ攻撃を受け止める。

タリバンの剣とプレデターの巨大カミソリの一進一退の攻防が続く。そして、タリバンがプレデターにキックを放って、距離を開けると、剣を構えた。

空から稲妻が剣先に落ち、タリバンはそのエネルギーを左手で剣に注ぎ込む。

「タリバン・ダイナミック！」

タリバンが叫び、剣を大上段からプレデターに振り下ろした。

ブレデターは真つ二つに切り裂かれ、爆発した。

しかし、アメリカの攻撃は終わらない。

市場空間を飛ぶ巨大な戦闘母艦ツインタワーが、上空からタリバンに対してビームやミサイルで攻撃をしかけてきた。

タリバンは走って、それらをよけ、空高くジャンプして、アルカイダに乗り込む。

「スーサイド・ボミング」

コックピットでタリバンは叫ぶと、アルカイダはそのまま戦闘母艦ツインタワーに突っ込んで自爆する。すさまじい煙が発し、そして、ツインタワーは崩壊して墜落していった。

アフガン惑星の群集は、彼らの母なる星を守った英雄オサマ・ビンラディンを称え、あちこちに宇宙刑事タリバンの写真を掲げ、アラーに祈り、第二のビンラディン、第二のタリバンたちが、悪魔の帝国アメリカへの報復を誓った。

戦えオサマ・ビンラディン！

アメリカを許すな！

聖戦だ！ 宇宙刑事タリバン！